

令和8年度第1回岡崎市総合教育会議会議録

日 時 令和8年8月6日(木) 午後4時

場 所 岡崎市役所福社会館2階201号室

出席者

岡崎市	内田市長
教育委員会	安藤教育長
	小森委員
	千野委員
	上原委員

欠席者 田口委員

報 告

- (1) 新しい時代の学校デザイン Ver.2.1-岡崎市立小中学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画-について

● 開会

内田市長よりはじめのあいさつ

●報告 (1) 新しい時代の学校デザイン Ver. 2. 1-岡崎市立小中学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画-について

— 説明（山元教育監） —

【質疑・意見等】

・上原委員

業務管理をする国の方向性とのことだが、管理職による実際の管理方法について、これまでとの変化はあるか？

事務局：ひとつ前の計画ではそうだったが、業務削減ありきではない改革はできないか、こどもたちのためになる改革はできないかという両面で検討してきた。今回の計画により改めて価値づけして、作成したのが今回の計画の特徴と捉えている。

・千野委員

文部科学省が示している 45 時間という時間に関して、標準的な在校時間なのか、実際の在籍時間はどのくらいか。

事務局：休憩時間 45 分含む 8 時間 30 分の在籍であり、8 時～16 時半までが基本勤務時間。45 時間目標とすると、1 カ月 20 日換算で 1 日あたり 2 時間が目安となる。ここに従前は部活動が入っていたが、その時間に業務が出来るようになった。

・小森委員

岡崎市は素晴らしい目標を掲げていると考えている。業務が一人の方に集中しないように、分散することが大切だと考える。

【自由意見】

上原委員：元気な・自由な学校に向けていろいろな施策を打って頂いている。人口減少が始まる中で、今まで以上に岡崎市に若い世代の移住が求められていると思う。今回の取組はとてもいいと思うので、ますます岡崎に引っ越し、住み続けたいと思ってもらえるような教育施策を打って行っていただきたい。32 人学級などのこれまでの先進的な取組に加えて、新たな取組を踏まえて教育を展開いただきたい。

小森委員：学校訪問をさせて頂くと、こどもたちが生き生きと授業を受けていると感じる。補助教員がいて教室内の各グループへ目が行き届いていることがよいと受け止めている。大変な状況ではあるが、なんとかこどもたちが楽しく学べる環境を作っていっ

てほしい。

千野委員：業務量の管理に関して、ICT による効率化については最前線を行っており素晴らしいと感じる。研究者が研究に専念できる環境づくりが重要であることと同じように、先生たちも教育に集中できる、先生を支える事務員などの配置を十分に行うなど、環境を整えていってほしい。

● 閉会